JAMSTEC PARTNERS
JAMSTEC賛助会

令和8年度
第2回 JAMSTEC賛助会セミナー
イブニングレセプション

令和8年10月21日(水) 15:30-19:00

TKP新橋カンファレンスセンター 14階
[東京都千代田区内幸町1丁目3−1 幸ビルディング]

資源・エネルギー

レアアース　水素社会

会員の皆様から多数のリクエストをいただいた注目テーマ「資源エネルギー」に関する講演を開催いたします。

今回のイブニングレセプションでは、SIPにおける最新の掘削報告に加えて、水素バリューチェーン推進協議会より水素社会の実現へ向けた取り組みをご紹介いただき、資源・エネルギー新時代の夜明けに向け共に探求します。当日はご参加の皆様とドリンクを傾けながら、楽しく意見を交わす交流のひとときを大切にしたいと考えております。

また、昨年より継続して取り組んできた「産業連携強化(双方向の技術交流)」は、今年度さらに活動を強化してまいります。皆様の新しい事業展開がこの賛助会からスタートする——そんな機会をより一層増やしてまいりますので、ぜひご期待ください。

講演1

南鳥島「レアアース泥」開発 取り組みと今後

SiP 戦略的イノベーション創造プログラム Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」テーマ1「レアアース生産技術開発」テーマリーダー
国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)
レアアース生産技術開発プロジェクトチーム　プロジェクト長　**川村 善久**

講演2

水素社会実現に向けた JH2Aの取り組み
～水素大動脈構想と水素1%調達宣言～

JAPAN HYDROGEN ASSOCIATION

一般社団法人 水素バリューチェーン推進協議会　**田野入 裕和 様**

JAMSTEC PARTNERS

令和8年度
第2回 JAMSTEC賛助会セミナー
イブニングレセプション

日時 令和8年10月21日（水）15:30-19:00

場所 TKP新橋カンファレンスセンター 14階
［東京都千代田区内幸町1丁目3－1 幸ビルディング］
https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shimbashi-uchisaiwaicho/

申込締切 令和8年10月14日（水）

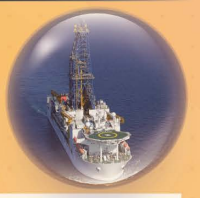
Googleフォームからのお申し込み
以下URLもしくはQRコードからアクセスしお申し込みください
https://forms.gle/PvSh1BWYxHidjbM4A



SCHEDULE

15:00 受付（開場）《会場：ホール14F》
15:30 ご挨拶と開催趣旨のご説明

15:35 **講演1** **南鳥島「レアアース泥」開発 取り組みと今後**



日本の経済安全保障に不可欠な国産レアアース供給網の確立に向け、内閣府の主導する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」では国産レアアース生産技術開発を推進しています。本講演では、南鳥島沖EEZの水深約6,000mの深海において、JAMSTECの所有する地球深部探査船「ちきゅう」を用いて実施された「レアアース泥採鉱システム接続試験」の成果を中心に最新動向を解説します。

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」
テーマ1「レアアース生産技術開発」テーマリーダー
国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
レアアース生産技術開発プロジェクトチーム　プロジェクト長　**川村 善久**



東京農工大学卒業後、外資系石油開発サービス大手のシュルンベルジェに入社。多くの油田開発現場で実績を重ね、マネージャーを歴任。2001年よりJAMSTECにて海洋科学掘削プログラムを推進。現在は内閣府SIP第3期テーマリーダーとして、南鳥島沖のレアアース泥の技術開発を主導。技術の民間移転と国産資源開発の社会実装に取り組む。

16:05 質疑応答
16:15 休憩

16:35 **講演2** **水素社会実現に向けたJH2Aの取り組み ～水素大動脈構想と水素1%調達宣言～**

水素社会の実現に向けて、一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会（JH2A）が推進する「水素大動脈構想」と「水素1%調達宣言」を中心に紹介します。水素需要の創出と供給拡大に向けた取り組みや、官民連携の重要性について解説します。また、水素の社会実装を加速するために必要となるインフラ整備、制度整備、国際標準化の方向性についても触れます。さらに、産業・物流・エネルギー分野における水素利活用の可能性を示すとともに、日本が目指す水素社会の将来像や、その実現に向けた課題と期待される役割について展望を示します。

一般社団法人 水素バリューチェーン推進協議会　**田野入 裕和 様**



1994年三井海上火災保険（現 三井住友海上火災保険）入社。大企業、金融機関、自治体、リテール等、様々なマーケットで保険提案、リスクマネジメントに従事。グループ保険代理店の経営、M&Aに従事した後、2025年4月より水素バリューチェーン推進協議会（JH2A）出向。金融委員会、水素大動脈構想を中心に、水素の社会実装に取り組んでいる。

17:05 質疑応答
17:15 話題提供（2件）
17:25 休憩、懇親会会場へ移動《会場：ホール14G》
17:30 懇親会
19:00 閉会の挨拶

【 お問い合わせ・ご連絡先 】
国立研究開発法人海洋研究開発機構東京事務所 賛助会事務局（担当：永橋／小原）
電話：03-5157-3900　E-mail: sanjokai@jamstec.go.jp

JAMSTEC 国立研究開発法人 海洋研究開発機構
apan Agency for Marine-Earth Science and Technology